

# Excel 快速 お仕事術

満載!  
業務に役立つ  
実用テクニック



牧村 あきこ  
MAKIMURA, Akiko

第 11 回

## レイアウトの異なる表を並べた 案内状を作ろう

### Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:  
Excel 2000/2002

### Level



### Samples

・この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、付録CD-ROMの¥DOTNET¥EXCELディレクトリに収録しています。

・CELLCOPY.XLS  
今回のサンプル



### はじめに

今回のタイトルには、「案内状を作る」と掲げていますが、実際は“Excelでレイアウトの異なる表を縦方向に並べてレイアウトする”が本質的なテーマです。

たとえば、シートごとに店舗別の売上表を作成しているような場合、店舗の売上を一望できるようにひとつのシートに表をコピーして報告書を作る……、などという作業がよくあります。このようなとき、それぞれの表のレイアウトが同じなら、単純に報告書作成用のシートに表をコピーすればよいだけなので何の問題もありません。ところが、構成する列の幅がお互いに異なる表を同じシートにコピーしようと思つと、事はそう簡単にゆきません(図1)。

そこで今回は、コピーした表を図に変換することで、貼り付け位

置を気にすることなく、ワークシート内で自由な位置にレイアウトできるプログラムを考えました。さらに、元の表とリンクして貼り付けることで、データが更新された場合も、対応できるようにしています。

これらの一連の手順を、できるだけ簡単に操作できるインターフェイスを持ったプログラム作りに挑戦してみましょう。



### プログラムの全体像を確認する

まず、プログラム全体の流れを整理しましょう。別々のシートにレイアウトの異なる表があるとします。今回作成するプログラム「Cell Copy」を実行すると、セル範囲を選択する画面が表示されます。ここで、コピーしたい範囲を選択し、[図としてコピー] ボタンを押して次々とコピー範囲を選択してゆきます。最後に[終了] ボタンを押

図1：異なる列幅の表をひとつのシートにコピーする

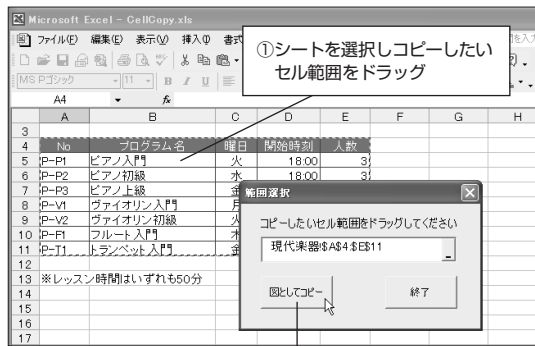
	A	B	C	D	E
3					
4	No	プログラム名	曜日	開始時刻	人数
5	P-P1	ピアノ入門	火	18.00	3
6	P-P2	ピアノ初級	水	18.00	3
7	P-P3	ピアノ上級	金	20.00	3
8	P-V1	ヴァイオリン入門	月	18.00	5
9	P-V2	ヴァイオリン初級	火	20.00	5
10	P-F1	フルート入門	木	18.00	5
11	P-T1	トランペット入門	金	18.00	5
12					

	A	B	C	D
5				
6	No	プログラム名	日程	定員
7	C-K-0408	胡弓入門	第2・4土曜日 13:00~15:00	10
8	C-B-0408	琵琶入門	第2・4土曜日 10:00~12:00	5
9	C-Y-0408	揚琴入門	第1・3土曜日 10:00~12:00	5
10	C-T-0408	竹笛入門	第1・3土曜日 13:00~15:00	10
11				

	A	B	C	D	E
1					
2	No	プログラム名	曜日	開始時刻	人数
3	P-P1	ピアノ入門	火	18.00	3
4	P-P2	ピアノ初級	水	18.00	3
5	P-P3	ピアノ上級	金	20.00	3
6	P-V1	ヴァイオリン入門	月	18.00	5
7	P-V2	ヴァイオリン初級	火	20.00	5
8	P-F1	フルート入門	木	18.00	5
9	P-T1	トランペット入門	金	18.00	5
10					
11	No	プログラム名	日程	定員	
12	C-K-040	胡弓入門	第2・4土	10	
13	C-B-040	琵琶入門	第2・4土	5	
14	C-Y-040	揚琴入門	第1・3土	5	
15	C-T-040	竹笛入門	第1・3土	10	
16					
17					

一方の表に列位置を合わせると、もう一方の表のレイアウトが崩れる

図2：コピーしたいセルを選択して、新規シートに順番に図として貼り付ける



② [図としてコピー] をクリック

最後に「終了」ボタンをクリック



せば、新規に作成したシートに、図が重ならないように縦方向に配置されます (図2)。

また、実際にコピー操作を実現するプログラムの処理手順は図3のようになります。これを踏まえ早速プログラムの作成に取り掛かることにしましょう。



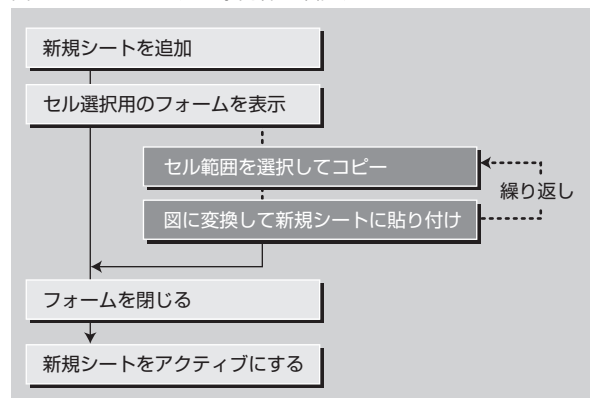
## プログラムの骨格を作る

サンプルブックには、「現代楽器」「中国古典楽器」という2つのシートに、それぞれレイアウトの異なるメニュー表が作られています。

まずは、メニューから [ツール] - [マクロ] - [Visual Basic Editor] を選び、Visual Basic Editor (以下VBE) を起動します。

続いてVBEの [挿入] メニューから [標準モジュール]

図3：プログラムの処理手順を確認する



を選び、新規モジュールを追加したら、リスト1のコードを入力してください。

リスト1は、このプログラムの骨格となる「CellCopy」プロシージャです。処理している内容を簡単に解説します。